

令和3年度 市民意識調査の結果について

企画部企画調整課

将来都市像である「夢ふくらみ 安心して暮らせる 元気都市 いせさき」の実現に向け、計画的にまちづくりを進めている中で、現状の市の取組に対する市民意識の動向を把握し、第2次総合計画後期基本計画や第2期総合戦略の進行管理、今後のまちづくりの基礎資料とするため、下記のとおり「市民意識調査」を実施し、その結果をとりまとめました。

813人から有効回答をいただき、回答率は40.7%となっています。

記

- | | |
|---------|--|
| 1 調査地域 | 伊勢崎市全域 |
| 2 調査対象者 | 伊勢崎市に在住する満18歳以上の人 |
| 3 サンプル数 | 2,000人 |
| 4 抽出方法 | 住民基本台帳から無作為抽出 |
| 5 実施方法 | 調査票を郵送し、回答を返信用封筒にて返送
又は専用ページからインターネットで回答 |
| 6 調査期間 | 令和3年6月24日（木）～7月13日（火） |
| 7 調査項目 | ・伊勢崎市の住みよさについての項目
・第2次伊勢崎市総合計画後期基本計画の各施策についての満足度・重要度を把握するための項目
・回答者の属性 |
| 8 公開 | 報告書は企画調整課、市民情報コーナー（市役所・各支所）、各図書館で閲覧できます。市ホームページでも公開しています。 |

令和3年度 市民意識調査 結果概要

1 伊勢崎市の住みよさ

【設問】あなたは、伊勢崎市の住みよさについて、どのように感じていますか。

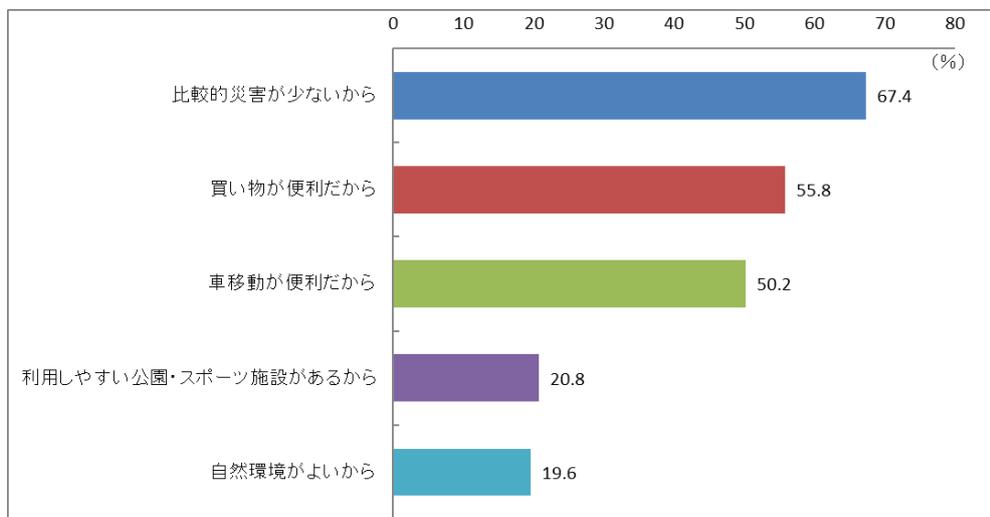
(16ページ)

【回答】「どちらかといえば住みよい」を含め「住みよい」と回答した人は602人(74.1%)となり、前回調査(73.6%)に続いて過去最高の割合を更新しました。

	回答数	割合
住みよい	230	28.3%
どちらかといえば住みよい	372	45.8%
どちらともいえない	92	11.3%
どちらかといえば住みにくい	81	10.0%
住みにくい	11	1.4%
無回答	27	3.3%
計	813	100.0%

【設問】「住みよい」または「どちらかといえば住みよい」を選んだ理由(18ページ)

【回答】「比較的災害が少ないから」と回答した人が最も多く、406人(67.4%)となっています。以下、「買い物が便利だから」が336人(55.8%)、「車移動が便利だから」が302人(50.2%)と続いています。(複数回答)



2 総合計画後期基本計画の体系に基づく各施策についての満足度・重要度

満足度が高い施策（24ページ）

- 1位 安定した水道水の供給
- 2位 水と緑の空間の形成
- 3位 消防・救急体制の充実

「安定した水道水の供給」が前回に引き続き1位、「水と緑の空間の形成」が前回3位から2位、「消防・救急体制の充実」が前回4位から3位という結果になりました。

重要度が高い施策（25ページ）

- 1位 災害に強いまちづくり
- 2位 地域医療体制の充実
- 3位 安定した水道水の供給

「災害に強いまちづくり」が前回5位から1位、「地域医療体制の充実」が前回に引き続き2位、「安定した水道水の供給」が前回1位から3位という結果になりました。

重要度が高く、満足度が低い施策（29ページ）

- ・ 安定的な財政運営の推進
- ・ 障害者福祉の充実
- ・ 防犯対策の強化
- ・ 道路の整備と管理
- ・ 災害に強いまちづくり
- ・ 交通安全対策の推進
- ・ 高齢者福祉の充実
- ・ 消費者保護対策の充実
- ・ 効率的で効果的な行政運営の推進
- ・ 適切な生活排水処理の推進
- ・ 危機管理体制の充実

満足度を向上させられるよう、最優先で改善すべき重点改善施策は、11施策ありました。

※割合は小数点以下第2位を四捨五入して算出しており、合計が100%にならないことがあります。